

| | | |
|---|---|----------|
| 石炭の水添抽出 | 田中芳雄他三名 | 416 |
| 東京工大學報 11の12, 昭17-12 | | |
| 京大工學部紀要 11の2, 昭18-3 | | |
| An Investigation of the Running Quality of Aluminium and Its Alloys | 森田 四郎 | 15 |
| Proceedings of the Imperial Academy 19の5, 昭18-3 | | |
| Scientific Papers 113~1126, 昭18-3 | | |
| 大陸科學院研究報告 7,1, 昭18-3 | | |
| 理研彙報 22の3, 昭18-3 | | |
| 熱中性子の固體による廻折散亂に就て(1) | 木村一治, 橋口隆吉 | 215 |
| 亞硫酸ガスによる磁硫鐵の脱硫反應について | 鈴木弘之 | 298 |
| 同 22の4, 昭18-4 | | |
| 土木試驗所報告 70, 昭18-4 | | |
| 神 鋼 7の26, 昭18-6 | | |
| 耐磨耗性特殊鑄鐵に就て | 林田三郎, 宮崎基繁 | 47 |
| 昭和18年2,3,4,5月中に發布された主要法令目次 | | |
| 號 | 事 項 | 日付 官報頁 |
| 商工省告示 88 | マンネスマン式高壓容器の最高販賣價格其他 | 2月 3日 54 |
| 同 上 107 | 價格統制令第二條第二項又は第三項の額に代るべきバルブツクの額其他 | 10日 181 |
| 陸軍省告示 1 | 電線製造工業原價計算準則及電線製造工業原價計算に關し提出せしむべき報告書類の様式等 | 17日 306 |
| 海軍省 大藏省 商工省 商工省告示 113 | 純白金線及純白金ロヂウム合金線 最高販賣價格 | 17日 326 |
| 陸軍省告示 1 | 造船工業原價計算準則及造船工業原價計算に關し提出せしむべき報告書類の様式等 | 24日 481 |
| 海軍省 大藏省 商工省 遞信省 商工省告示 130 | 針金線統最高販賣價格其他 | 26日 551 |
| 勅令 93 | 臨時製鹽地等管理令 | 27日 569 |
| 大藏省令 8 | 臨時製鹽地等管理令等施行則規 | 27日 570 |
| 農林省令 10 | 森林法施行規則中改正 | 27日 571 |
| 商工省令 11 | 石油資源開發法施行規則中改正 | 27日 572 |
| 遞信省告示 178 | 電氣用品型式承認其他 | 3月2日 174 |
| 遞信省告示 184 | 電氣用品型式承認其他 | 3日 131 |
| 法律 34 | 重要鑛物増産法中改正 | 9日 259 |
| 法律 35 | 帝國鑛業開發株式會社法中改正 | 9日 262 |
| 法律 38 | 東北興業株式會社法中改正 | 9日 265 |
| 商工省告示 204 | マグネサイト同燒成品の最高販賣價格中改正其他 | 11日 347 |
| 勅令 125 | 南方資源科學研究所官制 | 15日 452 |
| 商工省令 13 | 鑄鋼統制規則 | 22日 651 |
| 商工省告示 239 | 歴延アルミニウム箔の最高販賣價格其他 | 22日 654 |

| | | |
|--------------------|--------------------------------|-----------|
| 勅令 172 | 金屬回收本部官制, 金屬回收本部回收官, 特別任用に關する件 | 24日 701 |
| 勅令 817 | 金屬回收本部分課規程 金屬回收本部分課規定 | 25日 789 |
| 勅令 817 | 鑛業評價委員會官制 | 26日 813 |
| 商工省告示 1 | 製鐵業の原價計算に關し提出せしむべき報告書類の様式 | 29日 936 |
| 陸軍省 海軍省 大藏省 勅令 379 | 帝國鑛業開發株式會社法の施行に關する件中改正 | 4月10日 316 |
| 商工省告示 335 | 油脂類系機械油劑の最高販賣價格其他 | 10日 322 |
| 商工省告示 352 | 機械工養成所名稱及位置中改正其他 | 19日 531 |
| 商工省告示 391 | 珙瑯鐵器最高販賣價格其他 | 5月3日 37 |
| 遞信省告示 527 | 電氣計器用變成器型式承認 | 4日 72 |
| 遞信省告示 564 | 鑛業特設電話所設置其他 | 12日 275 |
| 遞信省告示 571 | 電氣用品型式承認其他 | 13日 298 |
| 勅令 6 | 臺灣鑛業規則中改正 | 18日 425 |
| 商工省告示 431 | 珙瑯鐵器の最高販賣價格中改正其他 | 18日 430 |
| 商工省告示 445 | クロム鑛石の最高販賣價格其他 | 25日 653 |
| 勅令 452 | 砂鐵法戰時特例 | 26日 685 |
| 商工省令 25 | 砂鑄法戰時特例施行に關する件 | 26日 686 |
| 勅令 467 | 重要鑛物増産法中改正法律施行期日 | 29日 778 |
| 勅令 468 | 重要鑛物増産法施行令中改正 | 29日 778 |

業 界 雜 報

制度經營の改善

配給統制

○商工省金屬局では鐵鋼配給の現状を査察し實情に即し逐次改善し配合の圓滑化を期することになつた 日産 0629

○商工省では鋼材の時期別具體的配給並に全國工場に對する綜合的歴延計畫を迅速適切に決定すべき強力なる中央組織として歴延鋼材委員會を設置することとなつた 大朝, 東京, 大阪, 日産 0623

○歴延金屬配給會では歴延金屬配給機構の整備方針を決定三都市に配給所を新設することになつた 日産 0702

○砂鐵, 石符等も配給統制規則が近く改正される 日産 0718

○選別炭配給統制要綱決定7月1日より特別のものは10月1日より實施する 日産 0703

○鐵鋼製品工聯では鐵鋼製品配給綱の一元化を計るため近く實態調査を行ふことになつた 東日 0620

協 議

○商工省に機械油劑價格協議會を開催油劑の2次公價指定分について決定した 日産 0616

○製鐵用機器類の國內自給を計る爲め科技聯鐵鋼部會全國協議會が開かれた 滿日 0704

○日本金屬學會秋季講演大會が廣島文理大に開催された 日産 0710

○昭南鑛山會定例協議會が大東亞會館に開かれた 日産 0710

- 科技聯鐵鋼部會最初の全國協議會は6月28,9日新京ホテルに開催
鐵鋼増産對策の諸問題に就き徹底的な協議を遂げた 満日 0627
- 科技聯鐵鋼部會で製鐵用機器,原料の國內自給體制の速かなる確
立を要望する議案が上程され熱議が行はれた 哈賓 0706
- 石炭統制會では石炭の有効利用を討議のため,常盤で官民座談會
を催した 日産 0622
- 特殊鋼大增産計畫に即應する原料對策に就いて鐵鋼統制會と特殊
鋼業者との間に29日大東亞會館で懇談會が開催された 日産 0716
- 日鐵鋼業では製鐵原料並に副原料の飛躍的増進に關する諸對策の
審議をするため事務所長會議を開催した 關日 0711
- 大阪府では19日鐵鋼増産懇談會を開催鐵鋼増産の具體方策につき
協議した 大阪,大毎 0620
- 低温酸性油の大量生産に關して第1回の軍官民懇談會を開催する
ことになつた 日産 0616
- 特殊鋼品協議會ではピアノ線需給の圓滑を圖るため29日官民代表
者の打合せ會を開催した 日産 0630

整 備

- 企業整備,戦時金融に有難き御下問を拜した 日産 0616
- 小賣業整備を勸奨し評價方法を急速に設定する 朝日 0624
- 企業整備經費全額國庫負擔を全國市長幹事會より要望された東毎
0706
- 整理會社は債券保有會社として存続し解散はしない 日産 0617
- 企業整備,更生金庫改正が公布された 日産 0627
- 實績,資本,設備及び今回迄の成績は問題としない所が今回の整
備の特異性である 日産 0627
- フェロアロイ協議會ではマンガン増産のため,主力鑛山を整備中
日産 0625
- 金山整備は月末迄に完了 日産 0718,朝日 0624
- 企業の内容轉換は今後尙一層盛に行なはれる事になる 日産 0617
- 盟外銑の原價調査を開始した 日産 07 9
- 企業形態を切換へ必要あらば特例を發令する.然し企業組織形態
の改編は實施せられぬ 日産 0703
- 機構の擴充に人事を強化するため鐵鋼販に専任社長を置く 日産
0703
- フェロアロイ協議會では今回職制を改革した 日産 0624
- 東洋セメント小倉工場を宇部興産へ譲渡することに決定した 日
産 0616
- 昭和製鋼所所有の臥龍泉を螢石探掘權を滿洲鑛山で買収した 日
産 0717
- 米東部の石炭罷業者は彈壓法に挑戦した 毎日 0628
- 米國の罷業彈壓法案成立す 日産 0627

原料設備の増強

資源の開發

- 朝日嶽亞鉛鑛床の開發檢査に仙鑛局張り切る 日産 0709
- 砂鐵選鑛機確保と各鑛山の徹底開發に關する施策を商工省,鐵鋼
統制會等で行つてゐる 日産 0616
- 三和鐵山の開發は三和鐵山株式會社と是川製鐵株式會社の兩社が
愈々本格的に活動を開始した 京日 0630
- 商工省並鑛山統制會では鐵鋼開發を更に徹底させるため廣範圍に
互り現地調査を開始した 日産 0716

増 産

- 東鐵局内の出炭率は1.5%強である 日産 0703

- クロム鐵の生産量は目標の110%であつた 日産 0709
- 岐阜縣の陶工の集團轉業による遊休窯を利用して海綿鐵を作つて
ゐる 讀報 0707
- アルミの生産好調で5月分99.3品位9割5分を占む 日産 0616
- 豊水期利用の鑛石増産は平均2割方目標突破した 日産 0620
- 鐵鑛生産の上半期は良好である 日産 0715
- 滿業鐵鋼生産は日本の5割を占て居る 毎日,日産 0627
- 鐵鋼統制會日本産業報國會では7月1日より8月末日迄の盛夏2
ヶ月を期して皆働運動を實施夏季の減産防止を圖ると共に決戦下
に於る鐵鋼生産の確保をはかることとなつた 北日,0612,哈賓
0618
- 熱管理で増産達成を期す 日産 0616
- 鐵鋼業は鐵鋼の生産隘路を凡ゆる部面から打開策を講じ鐵鋼増産
を計つてゐる 北日 0712
- 八幡製鐵所では出鋼記録を更新した 日産 0620
- 肥料用石灰を増産のため洋灰各社が全面的に協力をする 日産
0703
- フェロアロイ協議會では合金鐵製造に低品鑛の活用を圖ること
となつた 日産 0625
- 鐵鋼統制會及び鑛山統制會では砂鐵緊急増産對策を決定17年度
に倍する砂鐵の増産に乘出すことになつた 東亞 0619
- 本年度の産銅高本年度豫定量を突破するものと見られてゐる 日
産 0617
- 製鋼工場で輕合金を壓延し航空機の増産を期す 日産 0718
- 科學動員の對象を戦力増強へ集中 朝日 0717
- 日鐵八幡製鐵所に於ける第2回鋼材壓延委員會では商工省内に新
設された中央壓延鋼材委員會の割當に基き第2四半期の鋼材生産
の計畫を決定した 關日 0709
- 政府は今回石炭の外銅,鉛,亜鉛,鐵,マンガン等重要鑛物の増
産確保を期するため8月1日より9月30日迄を非常増産強調期間
とし實施することになつた 日産 0616
- 鑛山統制會では鋼の増産に對處するため主要鑛山を調査した結果
今次増産期間中の目標量は優に突破出来る見込であると 日産
0706
- 南より錫入荷のため錫は4割方値下 朝日 日産 0717

勞 務

- 昭和製鋼工場特技隊鞍山地區初の勤勞奉公隊に動員さる 日産,
満日 0702
- 商工省では重要鑛物増産達成のため全勞務者の衛生對策を一層強
化することになつた 日産 0703
- 鐵鋼統制會では製鐵勞務者に定員制度を設け各社の充實策を再檢
討中である 日産 0710
- 鑛山統制會では勞務者の健康保持のため學徒醫師を鑛山檢診に派
遣することになつた 日産 0706
- 亞砒酸を用ひ鑛山勞務者の衛生向上を期す 日産 0703
- 石炭統制會で炭鑛勞務者を統制作成した結果良成績であつた 朝
日,日産 0706

回 收

- 政府は鐵,銅,鉛等の重要戰力物資を増強するため昭和13年度
金屬類非常回收實施を4月16日の定例閣議に於て決定,商工省で
實施細目を決定した 西日 0611
- 鐵,銅,鉛等を主材料とする設備物質の大量的回收を實施するた

- め現行金屬回收令の全文改正を行ふこととなつた 朝日、大朝、東京、日産、茨城 0630, 0762
- 商工省では死蔵滞蔵物の有効利用を図るため鐵鋼化學製品等戦力重要物資を7月1日現在の在庫調査を機に鐵鋼の強制買上を斷行することとなつた 秋田 0703, 大毎 0701, 中日 0701, 日産 0701
- 各縣の金屬數非常回収は6月より8月末日までに回収することに決定した。今日迄の回収は好成績である 中日 0620
- 鐵鋼買上げに關し大阪府では大阪府特別調査班を編成した 大阪 0707
- 中部9縣の金屬回收打合會は6月22日行はれた 讀報 0623
- 代用品協會では金屬類特別回収に即應し、種々の對策を講じることとなつた 日産 0624

建設

- 關東輕金屬器物鑄造會社では山形工場を擴充する 日産 0616
- 選鑛を採鑛現場で行ふため必要な選鑛場の建設を全國數十ヶ所へ計畫した 日産 0704
- 日鐵では小型焙鑛爐を北支、朝鮮に續々と設立竣工し相次で操業を開始した 中日 0711
- 輪西製鐵所では焼結爐増設が奏效し出鉄率が上昇してゐる 日産 0626
- 鐵鋼業の南方進出を積極化することとなり各般の準備を急いでゐる 東京 0714, 日産 0624, 高知 0626, 大阪 0624, 中合 0624
- 精密機械統制會の資材會社が近く設立されるが現鐵鋼配給機構には變化せぬことに決定した 日産 0704

輸送

- 小坂鑛山に省替トラックを運行することとなつた 日産 0718
- 鑛山統制會では重要鑛物輸送を確保するため萬全計畫を樹立した 日産 0629
- 八幡製鐵所の運輸作業改善に就いて鐵道省、日鐵本社から運輸作業考査班が來轄し約一ヶ月に亘つて詳細なる現場考査を実施することとなつた 西日 0709
- 鑛石は出来る限り陸運にするため統制會で輸送調査を開始した 日産 0620
- 鐵鋼増産の隘路たる鑛石輸送難の打開策として陸運依存を一擲して船便を活用し鑛石の輸送力を増強を確保することに鐵鋼統制會で決定した 京日 0622

設備

- 九州に炭礦藥局を設置した 日産 0620
- 各社とも設備の新設、擴充で特殊鋼増産へ 日産 0617
- 五大重點産業の擴充、合併、新設増産の第一位は鐵鋼部門である 日産 0709

外地の生産及びその運動

- ジャカルタに有望な炭礦を數ヶ所に發見その開發も近く行はれる 日産 0620
- 南方のシトロネラは豫想以上に澤山有る 日産 0703
- 標準型木造船が比島で大量進水した 毎日 0628
- セレバスに進出した○C 鑛業は焙鑛爐を完成近く火入を行ふ朝日 0718
- セレバスの國防資源の開發を進め現地自給の實現を期す 朝日 0718
- 鈴木企畫院總裁は18日貴族院豫算總會に於てスマトラの鐵鑛資

源を利用し現地製鐵を行ふ旨言明した 讀報 0619

- 北支製鐵の焙鑛爐は續々完備、年内中に火入れをみる豫定 日産 0707
- 蒙疆に於ける製鐵事業は急速度の進展を示し現在生産は順調な伸展を見せてゐる 大毎 0620
- 蒙古政府經濟部では石炭、鐵鑛石の本年更生産割當量を確保するため26日北支開發支社にて官民合同の開發打合會議を開催した 東亞 0629
- 華北の製鐵事業は急速度の進展を示し生産が期待されてゐる 中日 0619
- 昭和製鋼では蒙古の新鐵鑛脈の本格的調査に乗出す 東亞 0704
- 無盡蔵の鐵、石炭等の地下資源を持つ山西省の開發に乗出す 日産 0620
- 山西省に進出した主なる會社は、大倉鑛業、淺野セメント、王子製紙、日本火藥、滿洲工廠、中華燐寸、華北電業、日本製粉、東亞煙草、東洋紡等である
- 日滿經濟共同委員會東邊道視察團は經濟部並に鐵鋼協議會主催の鐵鋼増産期間の督勵班が東邊道並に本溪湖鞍山に派遣されることになつた 滿日 0710
- 滿洲では銑鐵豫定量を日本に完送した 滿日 0704
- 滿洲鑛工業は増産に邁進し鐵は日本の約半分石炭産額は3分と云ふ成果を収めた 日産 0627
- 滿洲國では鑛業統制法を公布することとなつた 日産 0616
- 4月に始まつた銅、鉛、亜鉛増産強調週間を全滿各鑛山3ヶ月に亘つて實施中であつたが30日多大の成果を収めて終了した 日産 0701
- 滿洲國では全滿金屬回収を行つてゐるが7月から特別回収(鐵鋼)を行ふ 滿日 0703
- 朝鮮の金鑛山の整備は順調に進んでゐる 日産 0719
- 東邊道開發では本年度に於る増産對策として運搬設備を増強することにした 哈資 0614
- 朝鮮鋼管會社では京城永登浦に工場建設中であつたがこの程竣工し5日落成式を舉行した 京日 0709
- 半島に於ては緊急増産計畫されている鐵鋼を増産するため粉鑛も簡易燒結設備で處理し良結果を得た 京日 0618
- 臺灣の各種重工業の設備完了輕金屬鐵鋼の増産の期待されてゐる 日産 0719

技術操業の向上及び發明

技術の交流

- フエロアロイ協議會では合金鐵の技術交流のため第3回現地懇談會を開催した 日産 0625
- 商工省では増産を用ひるため採鑛の新技術を公開することとなつた 日産 0622
- 技術陣の協力を得重、化學工業の生産増強に當ることとなつた 日産 0703

向上及び發明

- 銅鉛の直接電解法が今回日本鑛業會社の古河武雄技師により完成された 日産 0618
- 一大鑛毒とされてゐた沈澱銅が今回商工省金屬局永上克之技師により新採收法が發表された 日産 0639
- ザンセートの分析統一のため8月より堀内法を採用する 日産 0709

- 日航工業會社々長、正木康作氏により砂鐵の簡易製鍊法が考案され實施に移されることになつた 日産 0625
- 今回米國に於て兵器を強靱にするにはリチウムが最も効果的な觸媒であることが発見された 東京 0624
- 硫酸滓から鐵と銅を採ることが秋田製鋼と日本鋼管で實驗的に成功した 日産 07C8
- 日鐵八幡製鐵所では熔鑄爐にカーボン煉瓦を使用した所シャモット煉瓦に比して2倍以上の耐久性を示し好成績である 日産 0701
- 日鐵では北支炭依存から全面的に轉換し内地炭の製鐵法を研究完成 日産 0714
- 硫安増産に邁進せる昭和電工では亜炭製鐵所のコークス供給方折衝に成功した 日産 0707
- 日鐵八幡製鐵所では炭火藥増産を鋭意研究を進めているがゴム配合試験の結果良好なる成績を収めてあるので近く生産計畫遂行の具體策を協議する事となつた 日産 0630
- 東洋曹達ア法歩留は好調である 日産 0709
- 日本アルミではジャンテ法によるマグネの製法の公開實驗を行なふ 日産 0703

有機物の利用

- 精密機械その他凡ゆる機械の最後の仕上に必要な研削砥石に我國最初の合成樹脂による製造法が今回阪大教授青博士により完成された 東京、日産 0621
- 京大小田教授は木材の金屬化の研究實驗に成功した 日産 0709
- 有機物脱水用アルミナ觸媒の製造を鐘紡研究所で半工業化した 日産 0616
- 東大に於て椰子油粕を爆薬の配合剤に利用する事に成功した 日産 0703

日本鐵鋼協會北海道支部發會式及第一回總會記事

豫てより北海道地方會員間に設立の要望あつた日本鐵鋼協會北海道支部設立に關し設立準備委員會にて着々準備中であつた處愈々萬端の事務完了をみたので北海道地方の氣候良好なる時節到來に際し去る8月8日の大詔奉戴記念日に株式会社日本製鋼所室蘭製作所青年學校講堂に於て支部發會式並に第一回總會を開催した。茲に各方面より多大なる援助と期待を以て執り行はれた當日の概況を記録する。

支部發會式並に總會

定刻、遠く北海道各地より參集せる會員總數約120名を迎へ又來賓として室蘭駐在海軍監督官菊地大佐、土居室蘭市長を初め各位の來臨を得先づ小林設立委員開會を宣し全員起立嚴肅裡に宮城遙拜更に第一線に奮戦中の皇軍將士の武運長久祈願併せて大東亞戰爭下赫々たる武勳を残して戰歿された將士の英靈に對し感謝の意を表する

爲謹んで黙禱を捧げた。

次に準備委員長前川清君登壇し設立經過並に會則に就て詳細なる報告をなし會員の承認を得たる後議事に入つた。

1. 支部役員選舉

評議員は投票に依り定むる筈のところ會員より「支部創立の際であるから準備委員に一任したし」との提議あり全員これに賛同したので委員長より次の20名が推薦され満場異議なく決定した。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| (評議員) | 伊能 泰治 | 伊藤 兼三 | 平田 實 |
| | 荒川 直三 | 川原 有美 | 大町 政利 |
| | 日野 律郎 | 西村 正 | 森 俊一郎 |
| | 柴田 善一 | 早矢 仕功 | 川村 信一 |
| | 前川 清 | 阿部 象一 | 萩原 巖 |
| | 太田 雞一 | | 小林佐三郎 |

次いで別室にて評議員會を開き下記の如く幹事を選出し満場に諮り決定をみた。更に又幹事會に於て支部長を互選し前川清君を選擧して全員に報告すれば全員拍手を以て賛意を表し役員選舉を了つた。

- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| (幹事) | 伊能 泰治 | 平田 實 | 荒川 直三 |
| | 柴田 善一 | 前川 清 | 小林佐三郎 |
| | 太田 雞一 | | |
| (支部長) | 前川 清 | | |

依て支部長前川清君登壇して支部長就任の挨拶を行ひ續いて日本鐵鋼協會々長代理水谷叔彦博士は祝辭を兼ね支部の使命に就て熱辯を奮はれ更に來賓を代表して菊地海軍大佐より祝辭があつて盛況裡に發會式並に總會を了つた。

2. 記念講演會

北海道支部設立を記念する催しとして發會式に引續き次の如きプログラムで講演會を開いた。この日特に本部より吉川晴十博士が來會され時局下の重要問題に對して講演されたのは支部として光榮であつた。

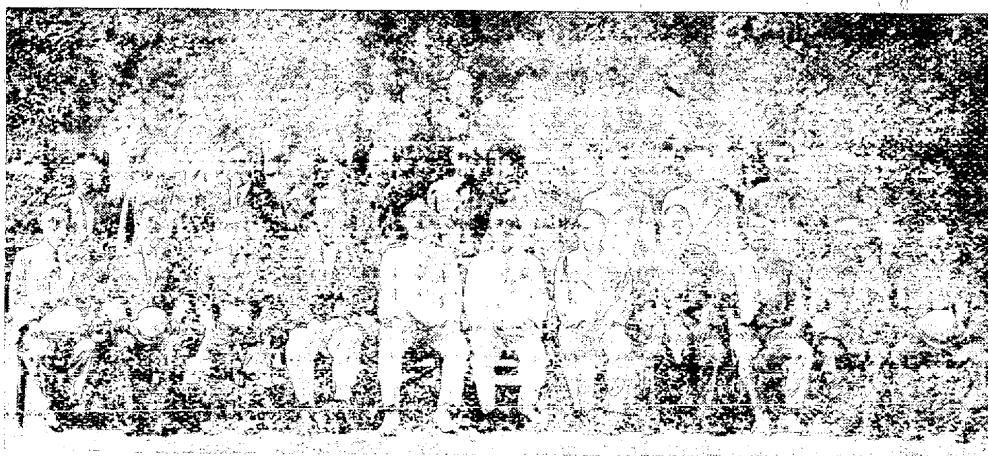
- | | |
|----------------|----------------|
| 1) 元素に關する最近の趨勢 | 北大教授 柴田 善一君 |
| 2) 輪西製鐵所の概況 | 日鐵輪西製鐵所 荒川 直三君 |
| 3) 鹽基性鋼と酸性鋼 | 東大教授 吉川 晴十君 |

以上にて當日午前の日程を終り日本製鋼所室蘭製作所の御好意により同所一號役宅にて懇食を御馳走に興り支部役員の記念撮影を行つた。

3. 工場見學

午後は1時より5時半に亘り下記3ヶ所の工場見學を行ひ午後6時より日本製鋼所一號役宅に於て初の評議員會を開催し今後の方針を協議した。

- イ) 日本製鋼所室蘭製作所
- ロ) 日鐵輪西製鐵所
- ハ) 日鐵爐材工場



日本鐵鋼協會北海道支部發會式に於ける役員來賓記念寫眞
(昭18-8-8 於日本製鋼所室蘭製作所一號役宅)